

議 事 録

会議名	令和5年度第3回寒川町子ども・子育て会議		
開催日時	令和6年3月26日（火） 10:00～11:00		
開催場所	シンコースポーツ寒川アリーナ3階会議室A・B		
出席者名、 欠席者名及 び傍聴者数	出席者：磯川委員長、佐藤副委員長、小林委員、石井委員、毛藤委員、白岩委員、和田委員、菅原委員 事務局：伊藤学び育成部長、 宮崎子育て支援課長、野呂技幹、加藤主査、 熊倉主査、木下副主幹、遠藤副主幹、早川主任主事 徳江保育幼稚園課長、川部副主幹、中村主査 芝崎学び推進課長、守屋主査 欠席者：志賀委員、藤崎委員、栗山委員 傍聴者：1名		
議 題	（1）子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査の集計結果（速報）について （2）その他 ①幼稚園型認定こども園開所に向けた動きについて		
決定事項	議事録承認委員 磯川委員長、佐藤副委員長に決定 （1）了承 （2）その他（報告事項）		
公開又は 非公開の 別	公開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 2 議事録承認委員の指名 3 議題 （1）子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査の集計結果（速報）について 【事務局（宮崎子育て支援課長）】 それでは、これより議題に入らせていただきますが、この会議は、町の自治基本条例に基づきまして、原則として公開ということになっております。本日、傍聴の方がいらっしゃいますので、これから入室いただきます。よろしくお願いいたします。（傍聴人入室） 【事務局（宮崎子育て支援課長）】 それでは、ここからは磯川委員長に議事進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。		

【磯川委員長】

これより令和5年度第3回寒川町子ども・子育て会議を開会いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に沿って進めさせていただきます。

議題（１）子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査の集計結果（速報）について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局（木下副主幹）】

議題（１）子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査の集計結果（速報）について、御説明させていただきます。

資料１－１の「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告（速報）」を御覧ください。

こちらは、就学前児童の保護者を対象に実施したニーズ調査で、家族状況や就労状況、日常的な幼稚園・保育施設等の利用、育児休業の取得状況などについて、大きく３７問の設問にお答えいただきました。今回は速報ということであり、ニーズ調査の全ての項目を網羅したものではありませんが、集計結果について御説明したいと思います。

それでは２ページを御覧ください。

２の、調査の実施方法と配付・回収状況についてです。対象者１,８０４件に対して、昨年１１月２１日に郵送により配付し、回答については、１２月５日を回答期限として、郵送、ウェブのほか、町内の幼稚園や保育所、小児科や産婦人科、各公共施設など２５か所に設置した回収箱により回収いたしました。回収数は７０４件、回収率は３９．０％という結果で、前回平成３０年度の実施状況と比較しますと、配付数が１６６件の減となり、ウェブや回収箱など回答しやすい環境整備に努めたものの、回収数が１４６件の減で、回収率が４．１ポイントのマイナスとなりました。

続きまして３ページを御覧ください。

（１）就学前児童の属性と（２）居住地区の状況については、御覧のグラフのとおりとなっております、前回の調査とほぼ同様の割合となっております。

次に４ページを御覧ください。

（３）調査回答者の状況です。左上の円グラフ、「問４ 回答者」は、ほとんどが「母親」であり、その右隣の円グラフ、「問５ 回答者の配偶者」は、９割以上が「配偶者がいる」と回答しています。どちらの割合も前回の調査とほぼ同様の割合となっております。「問６ 子育てを主に行っている人」では、前回と同様、「父母ともに」が「主に母親」を上回る結果となり、前回よりも「父母ともに」の割合が５．６ポイント増加しています。

次に５ページを御覧ください。

1、子育ての環境についてですが、「問10 子育てに日常的に関わっている人」は「母親」が最も多く、次いで「父親」となっており、父母共に関わっている人も多いことが伺えます。

「問11 子育てに影響する環境」については、多くの人が「家庭」と回答しており、次いで「保育所」、「幼稚園」の順に多くなっています。前回の調査では、「家庭」、「幼稚園」、「保育所」の順でしたので、「保育所」と「幼稚園」が逆転する結果となりました。

ページをおめくりいただき、6ページを御覧ください。

「問12 お子さんをみてもらえる親族・知人」についてですが、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、前回の調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が5.8ポイント減少したことに対して、「いずれもない」が4.9ポイント増えています。

また、「問13 気軽に相談できる人・場所の存在」が「いる／ある」割合は80.4%で、その相談先は、「祖父母等の親族」、「友人や知人」が多数を占めており、全体の割合は前回とほぼ同様となっております。

続きまして7ページを御覧ください。

2の、保護者の就労状況についてです。

まず、母親の就労状況ですが、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が35.7%と最も多い結果となっております。前回の調査と比較すると約8ポイント減っております。また、フルタイム、パート・アルバイト等に関わらず、就労している人の割合は、合わせて61.6%であり、前回より11.6ポイント増えています。

就労日数は、「5日」が最も多く、前回調査と比較すると9.1ポイント増加しています。就労時間は、「8～9時間」が最も多く、前回とほぼ同様の割合となっております。

次に8ページを御覧ください。

「問16-1(1) 母親 フルタイムへの転換希望」ですが、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」する人の割合が最も多くなっております。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」人と「実現できる見込みはない」人を合わせると39.6%で、前回の調査と比較すると13.7ポイント増加する結果となりました。

「問17(1) 母親 就労希望」、今後の就労希望についてですが、こちらは81.8%が今後の就労を希望しており、そのうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.1%で、「希望する就労形態」は「パートタイム・アルバイト等」が84.8%と

大半を占めております。前回の調査と比較すると、「フルタイム」を希望する人の割合が7.0ポイント減少しました。

続きまして9ページを御覧ください。

「問15(2) 父親の就労状況」ですが、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が89.9%と大半を占めております。こちらは前回の調査から4.8ポイント増えております。

週当たりの就労日数は「5日」、1日当たりの就労時間は「8～9時間」が最も多い結果となりました。

続きまして10ページを御覧ください。

3、平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望についてです。

まず、「問18 定期的な教育・保育の事業の利用」ですが、「利用している」人は7割を超え、前回の調査より4.1ポイント増えています。

また、「問18-1 平日に利用している定期的な教育・保育事業」について、「認可保育所」、「幼稚園」、「認定こども園」の順に多くなっており、前回の調査と比較すると、「幼稚園」が減った一方で「認定こども園」が増加傾向にあることが伺えます。

次に11ページを御覧ください。

まず、上段の「問18-2 定期的に利用している幼稚園・保育施設等の利用日数と希望日数(1週当たり)」ですが、利用日数、希望日数共に、「5日」が最も多くなっております。

下段の「問18-2 定期的に利用している幼稚園・保育施設等の利用日数と希望日数(1日当たり)」ですが、利用時間では「5時間」が最も多く、希望時間では「5時間」から「11時間」と回答が分かれている状況です。

次に12ページを御覧ください。

「問18-3 平日に利用している教育・保育事業の実施場所」については、9割弱の人が寒川町内の施設を利用しております。こちらは、前回の調査と比較し、ほぼ同様の割合となっております。

「問19 平日に定期的に利用したい事業」についてですが、こちらは、現在利用している人、利用していない人、全てにお聞きしており、「幼稚園」、「認可保育所」、「認定こども園」、「幼稚園の預かり保育」の順に多くなっております。前回の調査と比較すると、認定こども園を利用したい人の割合が増えております。

「問19-1 教育・保育事業を利用したい場所」では、ほとんどの人が「町内」と回答しており、複数の事業の利用希望があった人に対して、問19-2で、特に幼稚園の利用を強く希望するか伺ったところ、67.0%の人が「強く希望する」と回答しております。

続きまして13ページを御覧ください。

4の、地域子育て支援事業の現状と今後の利用希望についてで、「問20 利用している地域子育て支援拠点事業」で、子育て支援センター等を利用していない人が最も多いですが、前回の調査よりも若干、利用していない人が減少し、一方で、子育て支援センター等を利用している人が若干増加している状況となっております。

また、利用回数については、子育て支援センターが月に「1回」、「2回」、「4回」が多くなっており、ページをおめくりいただきまして14ページに飛びますが、その他の類似事業は月に「1回」が最も多くなっております。

「問21 地域子育て支援拠点事業の利用意向」については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない（現状維持）」という人が最も多く、「利用していないが今後利用したい」人は18.8%にとどまっています。全体の割合を見ると、前回の調査とほぼ同様の割合となっております。

続きまして15ページを御覧ください。

(2) 地域子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向についてですが、「地域子育て支援事業を知っているか」という問に対して、「父親・母親教室」、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が高くなっており、「利用したことがある事業」もこの2事業が高くなっております。また、「今後利用したい」について、「利用したことがある」の割合と比較して大きく増加している事業が、「総合教育センター・教育相談」、「さむかわ子育てガイド等の支援情報誌」となっております。

続きまして16ページを御覧ください。

5の、土曜日・休日の教育・保育事業の利用希望についてですが、まず、「問23(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向」は、「利用する必要はない」が63.4%、「月に1～2回は利用したい」が21.9%となっており、こちらは前回とほぼ同様の割合となっております。

「問23(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向」については、「利用する必要はない」が78.7%、「月に1～2回は利用したい」が16.5%となっており、こちらも前回とほぼ同様の割合となっております。

また、「問24 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望」については、「利用する必要はない」が38.9%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が49.7%となっており、前回の調査と比較すると、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人が増え、「利用する必要はない」と回答した人が減少した結果となっております。

	続きまして１７ページを御覧ください。 ６の、病児・病後児保育事業の潜在ニーズについてですが、「問２５ 子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと」について、７５．２％の人が「あった」と回答しております。 「問２５－１ 病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法」については、「母親が休んだ」が最も多くなっており、前回の調査と比較すると、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」が共に増加しています。 次に１８ページを御覧ください。 「問２５－２ 病児・病後児のための保育施設等の利用意向」については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が４４．０％、「利用したいとは思わない」が５４．３％でした。利用したい人に、預ける場合の望ましい事業形態を問２５－３で聞いたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が９０．７％、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が７３．６％となっております。 「利用したい日数」は、「６～１０日」が２４．０％、「５日」が２０．９％となっております。 次に１９ページを御覧ください。 こちらは、１８ページの「問２５－２ 病児・病後児のための保育施設等利用意向」で「利用したいとは思わない」と回答した人の理由について聞いております。「親が仕事を休んで対応する」が最も多く、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」、「利用料がかかる・高い」の順に多くなっております。 次に２０ページを御覧ください。 こちらは、父母が休む以外の対処方法を選んだ人で、「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」という意向がある方に、その希望日数を聞いております。「できれば仕事を休んで看たい」が５３．８％であり、「休んで看することは非常に難しい」が２１．０％となっております。休んで看ることが難しい理由としては、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が４６．２％と最も多く、次いで「その他」が３８．５％となっております。「その他」の主な理由としては、記載のとおり、「職場の人手不足」、仕事上迷惑をかけられない」、「収入減等」が挙げられております。 続きまして２１ページを御覧ください。 ７の、不定期の一時保育の利用状況ですが、「利用していない」が８３．５％、「幼稚園の預かり保育」が８．９％、「ファミリー・サポート・センター」が２．１％で、こちらは前回とほぼ同様の割合となっております。 利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が６９．６％
--	--

、「利用料がかかる・高い」が 20.4%で、前回の調査と比較しますと、「特に利用する必要がない」が 11.7 ポイント減少し、「利用料がかかる・高い」が 3.3 ポイント増加する結果となりました。

次に 22 ページを御覧ください。

「問 27 不定期の教育・保育事業の利用希望」ですが、「利用する必要はない」が 49.7%、「利用したい」が 45.3%となっており、利用したい人の目的は、「私用、リフレッシュ目的」が 73.4%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 59.2%となっております。

続きまして 23 ページを御覧ください。

こちらは、国の手引により前回のニーズ調査から変更した設問となっておりまして、保護者の用事による短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望についてです。こちらは、「利用したい」が 14.8%となっております。

続きまして 24 ページを御覧ください。

8 の、放課後の過ごし方の希望と学童保育所の利用希望ですが、就学前児童が小学校低学年になった場合の過ごし方の希望をみると、「自宅」、「放課後児童クラブ」、「塾や習い事」の順に多くなっております。

小学校高学年になった場合の過ごし方の希望を見ますと、「自宅」、「塾や習い事」、「その他（公民館、公園など）」の順に多くなっております。

次に 25 ページを御覧ください。

（2）土曜日・休日の学童保育所利用希望です。

まず、土曜日の利用希望を見ると、「低学年の間は利用したい」が 32.9%、「高学年になっても利用したい」が 7.1%、「利用する必要はない」が 58.6%となっており、前回の調査と比較すると、「低学年の間は利用したい」が 9.1 ポイント増加し、「高学年になっても利用したい」が 8.8 ポイント減少する結果となりました。

また、日曜日・祝日の利用希望を見ると、「低学年の間は利用したい」が 12.9%、「高学年になっても利用したい」が 5.7%、「利用する必要はない」が 78.6%となっており、前回の調査と比較すると、「利用する必要はない」が 11.9 ポイント増加し、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」が若干減少しております。

続きまして、最終ページの 26 ページを御覧ください。

9 の、町の子育て環境や支援の満足度についてですが、1 を「満足度が低い」として、5 を「満足度が高い」ということで、1 から 5 の 5 段階評価で、「満足度 3」が 36.5%で最も多く、次いで「

満足度4」が22.9%となっており、平均値は2.93という結果となりました。

資料1-1の説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【事務局（芝崎学び推進課長）】

続きまして、資料1-2の「子ども・子育て支援事業（児童クラブ）に関するニーズ調査報告（速報）」を御覧ください。

こちらは、就学児童の保護者を対象に、児童クラブに関するニーズ調査を実施したものです。就労状況や児童クラブの利用希望などについてお答えいただきました。

2ページを御覧ください。

2、調査の実施方法と配付・回収状況は、前回と同様に、町内各小学校に御協力をいただき実施いたしました。調査対象者は各小学校の各学年1学級を対象に、11月20日から12月5日までを期限とし、961件の調査を配付し、496件回収、回収率は51.6%でした。前回の調査と比較しますと、配付数は1件のマイナス、回収数は26件のプラス、回収率は2.7ポイントのプラスとなっております。

4の、調査対象者の属性については、グラフのとおりとなっております。

続きまして3ページを御覧ください。

保護者の就労状況について、（1）では母親、（2）では父親の就労状況をまとめております。

まず、（1）の母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」が最も多く、前回と同様の結果となっております。また、フルタイム、パート、アルバイト等で就労している人の割合は69.3%で、前回に比べ7.8ポイントのプラスとなっております。就労日数は「5日」が最も多く、就労時間は「4～5時間」が最も多く、こちらも前回と同様の結果となっております。

続きまして4ページを御覧ください。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、休業中ではない」が85.7%と大半を占めており、こちらも前回と同様の結果となっております。また、フルタイム、パート、アルバイト等で就労している人の割合は85.9%で、前回に比べ6.8ポイントのプラスとなっています。就労日数は「5日」、就労時間は「8～9時間」と、前回と同様に最も多い結果となっています。

続きまして5ページを御覧ください。

平日の放課後の過ごし方ですが、「問4 放課後の過ごし方と日数」について、「自宅」、「塾や習い事」、「その他」の順に多くなっております。放課後児童クラブを利用している人は14.9%で

	、前回に比べ３．６ポイントのプラスとなっております。 ６ページを御覧ください。 放課後児童クラブで過ごす日数については、「５日」が最も多く、６４．９％で、前回に比べ０．７ポイントのプラスとなっております。 ７ページを御覧ください。 平日の学童保育所利用希望は、児童クラブを平日利用していない保護者の利用希望について、「利用したい」と回答した人は１０．９％で、前回に比べ５．５ポイントのプラスとなっております。 ８ページを御覧ください。 こちらは、問４－２で、児童クラブを利用していない人で利用希望のある人の理由について回答いただきました。「その他」を除くと、「施設の定員が不足しているため入所できなかったが、余裕ができ次第、入所したい」が２６．１％で、前回と同様に最も多い結果となっております。 問４－３で、利用していない人で利用希望のない人の理由は、「保護者が子どもをみることができる」が６０．１％で、前回と同様にこちらが最も多い結果となっております。 ９ページを御覧ください。 土曜日・休日の学童保育所利用希望は、平日に児童クラブを利用している人または利用希望のある人の、土曜日の児童クラブの利用希望について伺ったものです。土曜日について「利用したい」は２９．２％で、前回に比べ２１．５ポイントのマイナス、日曜日・祝日について「利用したい」は１６．７％で、前回に比べ４．７ポイントのプラスでした。 最後に１０ページを御覧ください。 長期休暇中の学童保育所利用希望は、平日に児童クラブを利用している人または利用希望のある人の、夏休み、冬休みなどの長期休暇中の利用について回答いただきました。「利用したい」が９３．３％で、前回に比べ４ポイントのプラスとなっております。 寒川町の子育ての環境や支援への満足度は、「満足度が低い」、「満足度がやや低い」の合計は３１．５％で、前回に比べ３．１ポイントのマイナス、「満足度が高い」、「満足度がやや高い」の合計は２１．５％で、前回に比べ６．２ポイントのプラスでした。 説明は以上となります。よろしくお願いいたします。 【磯川委員長】 事務局から子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査の集計結果（速報）についての説明がありました。何か御質問や御意見等がある方はお願いいたします。 （特になし）
--	--

(2) その他 ①幼稚園型認定こども園開所に向けた動きについて
【磯川委員長】

続きまして、議題(2) その他、①幼稚園型認定こども園開所に向けた動きについて、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局(川部副主幹)】

それでは、議題の(2) その他、①幼稚園型認定こども園開所に向けた動きについて、報告をさせていただきます。

まず、この件につきましては、昨年令和5年8月31日開催の子ども・子育て会議において御報告させていただきました案件でございます。このたび、町議会においても改修工事等に対する予算議決をいただいたことでもありますので、この場で改めて御報告をさせていただきます。

それでは、資料2の「倉見幼稚園の認定こども園化について」を御覧ください。

私学助成を受ける幼稚園が幼稚園型認定こども園に移行する予定です。町内の認定こども園は3施設目となりますが、幼稚園型認定こども園は町内で初めてとなります。寒川町倉見にございます学校法人磯川学園が運営する倉見幼稚園が、令和7年4月をめどに、幼稚園型認定こども園への移行に向けて関係機関との調整を進めております。

1に記載しております、認定こども園につきましては、教育と保育を一体的に行う施設であり、幼稚園と保育所の両方の機能や特徴を併せ持つ施設となります。設置者は、認定こども園法による認可と、子ども・子育て支援法による確認を受ける必要がございます。認可は神奈川県が行い、確認は町が行います。

2の、事業者でございますが、倉見幼稚園を運営している学校法人磯川学園になります。

3の、現況についてでございますが、現在の倉見幼稚園は昭和48年4月に私学助成を受ける幼稚園として開園いたしました。昭和60年4月に学校法人磯川学園を設立し、幼稚園の運営を継続しております。現在の認可定員は265人となっております。

4の、開園予定日等でございますが、令和5年、令和6年の2か年で今の園舎の一部を残して改修工事を行い、令和7年4月の開園を目指しております。

5の、園名については、今と変わらず、倉見幼稚園となります。

6の、所在地についてですが、寒川町倉見2299番地で、今の倉見幼稚園敷地内にある園舎を認定こども園に移行するために改修工事をしております。

7の、利用定員予定等については、資料の裏面に記載しておりますとおりでございます。1号認定の子ども(幼稚園部分)は、3歳

	児から5歳児までの合計で206名となっており、保育所部分としては、0歳児の受入れはなく、1歳児が4名で、2歳児から5歳児については各6名ずつとなっており、保育所分の合計は28名となります。幼稚園部分と合わせて234名となります。 町といたしましては、1歳児、2歳児の定員が増えることで待機児童の解消につながるものと期待しているところでございます。 今後は、移行に向けて認定の手続をする必要がございます。予定では、認定申請書を12月末までに県へ提出して、認定審査を経て、翌年の令和7年3月中に認定の承認を受け、令和7年4月から認定こども園として開所する予定となっております。 建物の改修工事等は国庫補助金の内示を受けてから着手することとなっており、令和5年6月に内示を受け、仮園舎の建築、旧園舎等の解体工事までを令和6年の3月までに終了予定となっております。令和7年度からの第3期寒川町子ども・子育て支援事業計画に反映させていく予定で、次回の子ども・子育て会議では、令和5年度の進捗状況等の御報告を予定しております。 以上が、倉見幼稚園の認定こども園化についての御報告となります。よろしくお願いいたします。 【磯川委員長】 以上で説明が終わりました。何か質問はございますか。 【小林委員】 認定こども園が3施設目ということで、幼稚園型認定こども園が町内初めてとなるというのはどういう意味か、教えてください。 【事務局（徳江保育幼稚園課長）】 大曲にある湘南こども園が幼保連携型認定こども園として一番初めに開所しました。2施設目としては、岡田にある寒川さくら幼稚園が令和4年4月に、同じく幼保連携型認定こども園として開所しております。今回、3施設目となるのが倉見幼稚園ですが、幼稚園型認定こども園としては初めての施設となります。 幼保連携型は、1つの建物の中に幼稚園機能と保育所機能を併せもつ施設で、幼稚園型は、幼稚園に保育所機能が併設されている施設です。それと、保育所型の認定こども園もありまして、そちらは逆に、保育所に幼稚園機能が併設されている施設です。あまり例としてはないですが、地方裁量型認定こども園と、4つの類型の認定こども園があるなかで、幼稚園型認定こども園が今回改めて1つ目として開所することになります。 【小林委員】 分かりました。ありがとうございました。 【磯川委員長】 ほかに質問ございますか。
--	--

特になければ、以上で報告を終わらせていただきます。

それでは、全体で何か質問ございますでしょうか。

【佐藤副委員長】

先ほどのアンケートの結果を見たときに、常勤で8時間働くお母さんが少なく、パート等の短い時間帯で働くという感じの結果が出ていて、これはアンケートに答えた人たちの結果だと思いますが、町全体としては、子育てをしている親御さんたちの働き方がどういう感じになっているのか気になりました。

【事務局（宮崎子育て支援課長）】

確かに、委員がおっしゃるように、この数字自体はこのアンケートにお答えいただいた方の答えですけれども、大きな傾向としては表している部分になるのかなとは思っています。やはり、労働時間の長い短いというのは別にして、働くという意向を持っていられ方が増えてきているのは事実だろうなとは感じているところでございます。

【佐藤副委員長】

労働時間が長い仕事で働きたいけれども、例えば、子どもを見てもらう施設に預けられないから働けないとか、そういうところが見えてくると、認定こども園の在り方が少し動いてくるのかなという気がしましたが、そういうことなんですね、分かりました。

【磯川委員長】

ほかにございますか。

よろしいですか。それでは、議長を終わらせていただきまして、事務局よりお願いいたします。

【事務局（宮崎子育て支援課長）】

委員長、ありがとうございます。

それでは、町のほうから今後の予定をお知らせさせていただきます。今日が令和5年度の最後の会議となりまして、令和6年度につきましては、計画の策定に入りますので、今のところ、会議の開催としましては、予算上は5回開催する予定で計画をしております。実際の策定の進捗具合ですとか内容の進み具合とか、そういったものにもよって変わってきますけれども、一応5回分を予定しておりますので、御承知おき願えればと思っております。

実際の開催に当たりましては、また日程調整をさせていただき、場合によっては2回目、3回目とか先のスケジュールも含めた日程調整になるかもしれませんが、いずれにしても調整はさせていただいた上で開催したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日御説明をさせていただいて、御質問は若干ありましたけれども、基本的には賛同、承認をいただき、ありがとうございます。

	御指摘のとおり、この調査結果を踏まえまして、４月以降に計画策定ということで動いてまいりたいと思っております。 委員の皆様の中には、所属される団体の御都合等で、今年度で委員を退かれるという方もいらっしゃるかと思いますが、これまでいろいろとお世話になりまして本当にありがとうございました。継続される委員さんもいらっしゃいますけれども、年度末で一区切りというところで、この場をお借りしまして御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。
配付資料	○寒川町子ども・子育て会議委員名簿 ○寒川町子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告（速報）【資料１－１】 ○寒川町子ども・子育て支援事業（児童クラブ）に関するニーズ調査報告（速報）【資料１－２】 ○倉見幼稚園の認定子ども園化について【資料２】
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	磯川委員長、佐藤副委員長（令和６年５月２２日確定）